

会 議 録

1 会議名

令和元年度第4回八千浦区地域協議会

2 議題

【報告事項】

- ・ 公の施設の使用料改定について（公開）
- ・ 今後の「公の施設の再配置計画」の取組について（公開）
- ・ 保倉川治水対策の現状について（公開）

3 開催日時

令和元年11月13日（水）午後6時30分から午後7時37分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員： 仲田紀夫（会長）、笠原武、笠原幸博、坂詰喜範、関川幹雄、丸山光雄、柳澤 篤、渡辺孝三郎、渡邊修一（欠席3名）
- ・ 事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、霜越臨時職員
社会教育課：川上参事、片所主任
行政改革推進課：小酒井副課長、内海主任
河川海岸砂防課：中村課長、宮崎副課長

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【仲田会長】

- ・ 挨拶

- ・会議録の確認：坂詰委員、柳澤委員に依頼

議題【報告事項】公の施設の使用料改定について、社会教育課へ説明を求める。

【社会教育課：川上参事】

- ・資料No.1「公の施設の使用料改定について」に基づき説明

【仲田会長】

説明に対し質疑を求めるがなし。

「公の施設の使用料改定について」は終了とする。

次に【報告事項】今後の「公の施設の再配置計画」の取組について、行政改革推進課へ説明を求める。

【行政改革推進課：小酒井副課長】

- ・資料No.2「今後の『公の施設の再配置計画』の取組について」に基づき説明

これから30年、40年後の次の世代のために我々、今の世代でどの施設を整理統合しておくべきなのかを市民の皆さんとともに考えながら、公の施設の再配置の取組を進めていきたいと考えている。

【仲田会長】

八千浦交流館はまぐみは上越市内でトップクラスの施設だと思っている。隣接する区にも似たような施設があるが、利用者の動向は、この再配置計画の中ではどのように捉えられていくのか。

【行政改革推進課：小酒井副課長】

再配置計画において利用者の動向は、判断する基準の大きなウエイトを占めている。しかし、利用者数だけで判断してしまうと利用者が少ないところは一律にすべて廃止という事になってしまう可能性もあり、総合的に判断しながら進めていきたいと考えている。

【仲田会長】

はまぐみは多機能な複合施設であり、利用者については、地域外の利用者が多いことと、隣接しているスポーツ施設はまぐみでは市内で屋内施設が少ないということもあり、季節によっては相当偏った利用形態になっている。利用者が極端に多いということになると維持管理もそれなりに費用が掛かり、老朽化も早くなると思うが、令和7年度の見直しの際に分析される予定か。

【行政改革推進課：小酒井副課長】

施設の維持管理経費は施設ごとに把握している。存続する施設については計画的な修繕も必要となるので、修繕計画も併せて策定していく予定である。

【仲田会長】

是非、そのようにお願いしたい。

次に、夷浜住宅は相当老朽化が進んでおり、現在入居している住民は高齢者が多く、空室も多くなっている。市営住宅等に対する再配置や土地利用といった計画は再配置計画内に入るのか。

【行政改革推進課：小酒井副課長】

この公の施設の再配置計画は体育館や貸館施設等を対象としている。市営住宅や保育園等については、それぞれで計画を策定している。

【仲田会長】

確かに市営住宅も保育園も再配置計画がそれぞれ別途にあると思うが、公共施設の再配置計画とリンクして協議されるということで良いか。

【行政改革推進課：小酒井副課長】

そうである。

【仲田会長】

他に意見等はないようなので、【報告事項】今後の「公の施設の再配置計画」の取組については終了する。

— 社会教育課、行政改革推進課 退室 —

次に【報告事項】保倉川治水対策の現状について、河川海岸砂防課へ説明を求める。

【河川海岸砂防課：中村課長】

- ・資料No.4 「保倉川放水路の現地調査に関する説明会資料」、
- ・資料No.5 「現地調査計画（案）全体図」に基づき説明

近年の豪雨災害は激化の一途をたどり、先日も大変な降雨があった。治水安全度の向上は極めて重要な課題となっており、国、県、市が連携しながら、迅速かつ丁寧に保倉川放水路の整備に取り組むたいと考えている。

【仲田会長】

地元への説明会として夷浜と遊光寺浜町内へ入ったようだが、遊光寺浜町内でも説明会を行ったのか。

【河川海岸砂防課：中村課長】

遊光寺浜については、資料No.5の④の場所が遊光寺浜町内であり、市の土地でもあるので町内会長に話をさせていただき、回覧にて周知させていただいた。

【仲田会長】

今回、台風の影響で上流のほうで浸水したところもあるが、そちらからは何か意見がなかったのか。

【河川海岸砂防課：中村課長】

関川の上流や名立区、桑取区のほうがかなりの雨量があった。非常に水位が上がった箇所もあり、関川沿線では床上・床下浸水が発生したため、該当地域からは治水安全度を上げるよう強く要望をいただいた。

我々とすれば、大変な被害が出ているところもあるので、治水安全度を上げていかないと、最悪の状況になってからでは遅いし、手をこまねいているわけにはいけないので、何とか早く進めたいと考えている。

【仲田会長】

他にないか

【渡邊修一委員】

台風19号の際、テレビで佐内町の左岸からポンプ車を使って排出しているところが放送されていた。やはり抜本的に地域住民の不安がないように対処していただきたいと思っている。

他でポンプ車が出ていた所はあるのか。

【河川海岸砂防課：中村課長】

ポンプ車は他地域でも多数出ており、国土交通省からも4台の排水ポンプ車が出た。他にも高度化学消防隊のドラゴンハイパーコマンドユニットという消防車を使い港町から排水を行い、地元の消防団の方々からも排水ポンプ車を使って、何とか少しずつでも排水していただいた。

河川の水位が上がったことによって、土地から河川のほうに流れづらくなり、場合によっては逆流する恐れがあるので、今回、62か所の樋門を閉め、ポンプアップして対応していただいていた。

河川の水位を上がりづらくするには、河川を掘ったり、深くしたり、流れを良くしないと水位が上がることは防げない。水位が上がって樋門も閉めてしまうと排水路を整備しても流下能力が下がる。そういった状況が起こりにくくなるように放水路が強く求め

られるという状況である。

【柳澤委員】

この間、現地の環境調査を行っているのを見た。八千浦区にも調査が入ってきているが、完成までの具体的な日にちが出てくるのは、何年ぐらい先になるか、分かる範囲で教えてほしい。

【河川海岸砂防課：中村課長】

私たちが国と一緒に取り組んでいくが、今のところ具体的なことについては分からない状況である。皆様から言われている通り、治水安全を求める立場でもそうだが、関係者のいろいろな人生設計、生活に影響がでることだと思っているので、情報は早めに出していきたいと思う。

【仲田会長】

国の事業なので、市からは説明ができて、それ以上のことは言えないのではないかと。他に意見がないので【報告事項】保倉川治水対策の現状については終了とする。

— 河川海岸砂防課 退室 —

次に【その他】について、事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

1月6日に開催された地域協議会会長会議の内容について報告させていただく。

- ・資料No.1 「令和2年度 地域協議会委員改選について」、
- ・資料No.2 「令和2年度地域活動支援事業案の概要」、
- ・資料No.3 「町内会宛て事務文書の配布の見直しに関する協議について」に基づき説明
仲田会長から補足説明があればお願いしたい。

【仲田会長】

「地域協議会だより」についてだが、13区と15区で地域協議会だよりに対する考え方に違いがあり、13区では「全戸配布のままが良い」という意見が多く出ていたが、15区からは「町内会長協議会内で決めたほうが良いのではないか」という意見が出ているとのこと。

次に次回の協議会について、事務局から説明を求める。

【滝澤センター長】

次回の協議会については諮問等の案件がないため、議題が入り次第、会長・副会長と相談の上、皆様へ連絡させていただく。

【仲田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。